

みずほCustomer Desk Report 2021/02/01号 (As of 2021/01/29)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	104.48 AUD/USD
TKY 9:00AM	104.32	1.2120	126.45	1.3724	0.7672
SYD-NY High	104.94	1.2156	127.33	1.3750	0.7703
SYD-NY Low	104.21	1.2095	126.39	1.3657	0.7632
NY 5:00 PM	104.73	1.2139	127.10	1.3693	0.7642
NY DOW	29,982.62	▲ 620.74	日本2年債	-0.1300	0.00bp
NASDAQ	13,070.70	▲ 266.46	日本10年債	0.0500	2.00bp
S&P	3,714.24	▲ 73.14	米国2年債	0.1103	▲ 0.98bp
日経平均	27,663.39	▲ 534.03	米国5年債	0.4248	▲ 0.63bp
TOPIX	1,808.78	▲ 30.07	米国10年債	1.0698	1.89bp
シカゴ日経先物	27,785.00	▲ 625.00	独10年債	-0.5205	2.30bp
ロンドンFT	6,407.46	▲ 118.69	英10年債	0.3290	4.10bp
DAX	13,432.87	▲ 233.06	豪10年債	1.0920	3.90bp
ハンセン指数	28,283.71	▲ 267.06	USDJPY 1M Vol	5.25	0.15%
上海総合	3,483.07	▲ 22.11	USDJPY 3M Vol	5.83	0.05%
NY金	1,850.30	9.10	USDJPY 6M Vol	6.22	0.01%
WTI	52.20	▲ 0.14	USDJPY 1M 25RR	-0.23	Yen Call Over
CRB指数	174.20	▲ 0.09	EURJPY 3M Vol	6.36	▲ 0.04%
ドルインデックス	90.58	0.13	EURJPY 6M Vol	6.68	0.02%

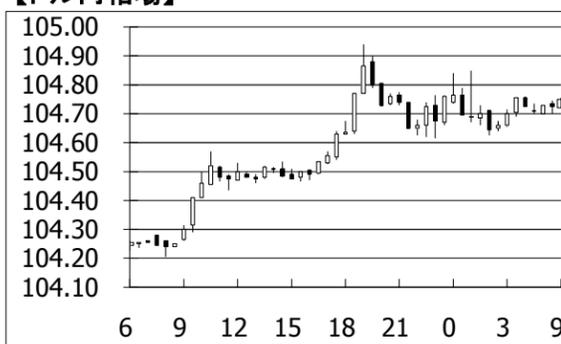
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
1月29日	08:30	日 東京CPI	1月 -0.5%	-0.9%
	18:00	独 GDP(前期比)・速報	4Q P 0.1%	0.0%
	22:30	米 個人所得/個人支出	12月 0.6%/-0.2%	0.1%/-0.4%
	22:30	米 PCEデフレ(前月比/前年比)	12月 0.4%/1.3%	0.3%/1.2%
1月30日	00:00	米 中古住宅販売仮契約(前月比)	12月 -0.3%	-0.5%
	00:00	米 ミシガン大学消費者マインド・確報	1月 79.0	79.4
1月31日	10:00	中 製造業PMI	1月 51.3	51.6
	10:00	中 非製造業PMI	1月 52.4	55.0

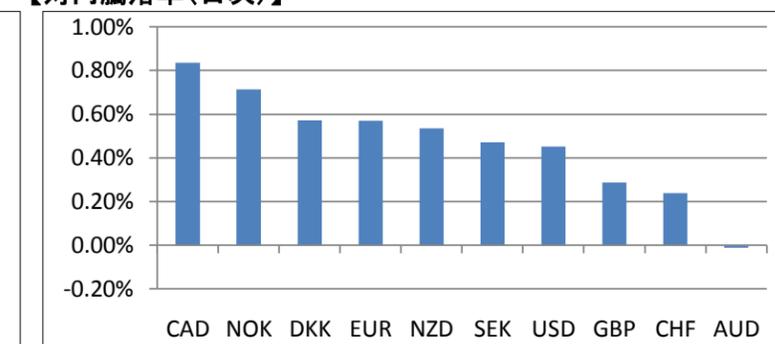
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
2月1日	10:45	中 Caixin中国製造業PMI	1月 52.6	53.0
	17:55	独 マークイット製造業PMI・確報	1月 57.0	57.0
	19:00	欧 失業率	12月 8.3%	8.3%
	23:45	米 マークイット製造業PMI・確報	1月 59.1	59.1
2月2日	00:00	米 建設支出(前月比)	12月 0.8%	0.9%
	00:00	米 ISM製造業景況指数	1月 60	60.5

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	104.20-105.20	1.2070-1.2170	126.50-127.50

【マーケット・インプレッション】

先週金曜日のドル円は上昇する展開となった。東京時間は、株式市場の下落からリスク回避のドル買いとなり、104円台半ばまで上昇。海外時間に発表された、フランスとドイツの第4四半期GDPが予想を上回る結果にクロスでユーロが買われ、ドル円は上昇し、一時104.94を付ける。その後は強弱まちまちの材料に104円台後半でのレンジ推移となった。
本日のドル円は、上値重い展開を予想。先週末にかけて下落した株式市場の動向を睨みながらの展開になるだろう。コロナウイルスワクチンに関する報道も決定打に欠ける中、リスクオフムードが継続しドル買いの流れは継続すると予想。一方、月初の売りフローも相応にあると思われ、上値は限定的になるだろう。

東京
東京時間のドル円は104.32レベルでオープン。日経平均や米株先物の下落が嫌気され、リスク回避のドル買いが先行し、ドルは対円のみならず、対資源国通貨など幅広く買われ、ドル円は一時104.57まで上昇。月末であるこの日は実需による売りフローも相応にあり、上値が抑えられる格好となり104.50レベルで海外時間に渡った。

ロンドン
ロンドン市場のドル円は104.50レベルでオープンし、東京時間でドルが買われた流れを引継ぎ、上昇。朝方発表されたフランスとドイツの第4四半期GDPが市場の予想ほど悪化しなかったことから、加えてユーロが買われ、それに伴う円売りの圧力がドル円の押し上げになったようだ。一時104.94まで上昇したが、その後反落し、104.66レベルでNYに渡った。(ロンドン・ドル円 00531 444 179 マルビル)

ニューヨーク
本邦輸入勢の月末締め円売りドル買いや、フランス、ドイツの第4四半期GDPが予想程悪くなかったことからユーロ円が上昇する動きもあり、ドル円は昨年の11/16以来に104.94まで上昇し、104.66レベルでNYオープン。朝方は米国での新たなワクチンの治験結果が発表されたが、これまでのワクチンと比べるとあまり良い結果ともいえず、ドル円の反応は限定的となるが、米第4四半期の雇用コストが0.7%と予想0.5%を上回り、12月の個人所得が前回分が下方修正される一方、今回は予想を上回り、PCEコアデフレ率も予想を上回ったことから104.76まで戻す。その後利益確定売りに104.62まで反落するが、NYオプションカットに向けて再び104.84まで上昇する。10時に発表の米12月中古住宅販売件数が予想悪化せず、前回分も上方修正されたが、同時に発表された1月ミシガン大学消費者信頼感指数が予想を下回り、104.67まで反落する。11時のロンドンフィックスに掛けるのは月末のリバースとみられるドル買いに104.85まで戻す。午後は米製薬会社のCEOが「今後の変異種はワクチンからすり抜けてしまう可能性が高い」と発言したことが伝わるが、ドル円の反応は限定的となり、終盤に掛けては週末を控え狭いレンジでの推移が続き、104.73レベルでクロスした。一方、ユーロドルは海外市場でドル買いが強まり1.2095まで下落するが、独GDP結果や通信会社が「ECBIは利下げによる恩恵が少ないため利下げしないだろう」と報じたこともあり1.2149まで戻し1.2134レベルでNYオープン。朝方は1.2156まで戻すものの、月末締めドル買いや株安を受けたリスク回避の動きに1.2126まで反落する。その後1.2155まで戻す局面もあったが軟調な株式市場を横目に上値は重く1.2139レベルでクロスした。(NY井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	甲斐	牛島	山岸	田坂	尾身	上野	ブル	ベア
ベア	ベア	ブル	ブル	ベア	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア	ブル	ベア
山口	小野崎	玉井	原田	大庭	上遠野	松本	逸見	大谷	小林	ブル	ベア
ベア	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア	6	14